

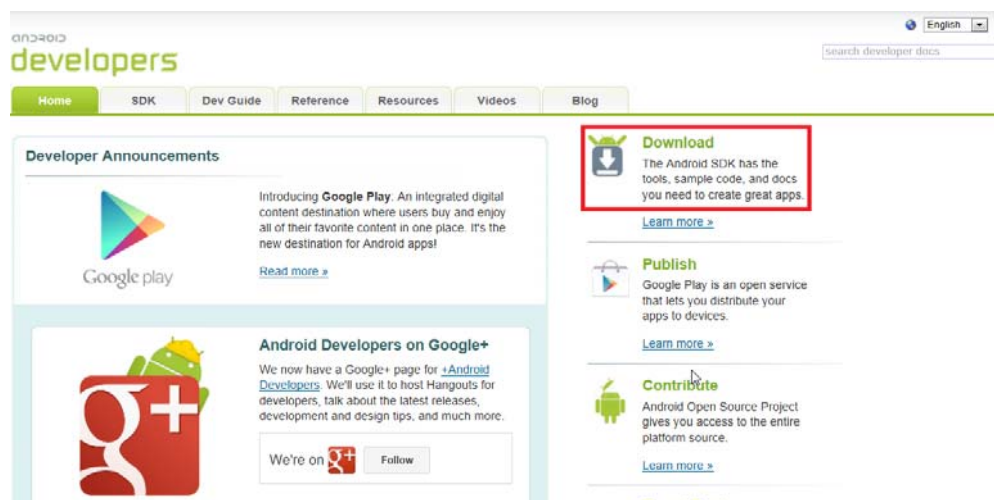
Android 開発環境構築手順

Android の開発環境を整えるのに必要なものは以下の 5 つになります。(ただし、Eclipse の日本語化プラグインは任意)

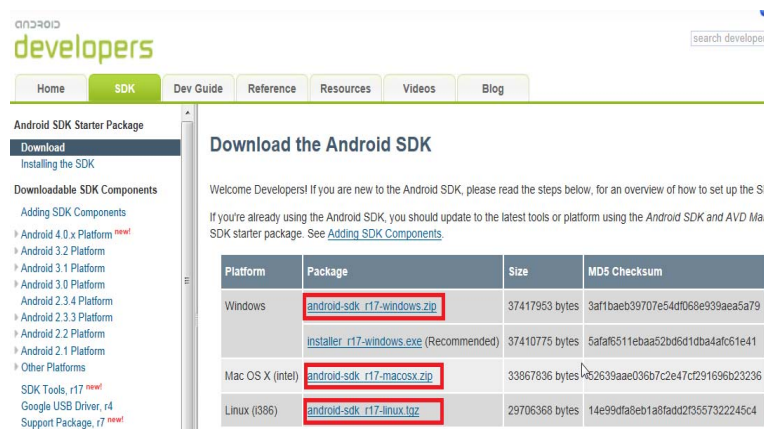
- Android SDK
- JDK
- Eclipse
- Pleiades(Eclipse の日本語化プラグイン)
- Eclipse の Android Plugin

1 Android SDK

まず、<http://developer.android.com/>に行きます。



そして、Download を選択します。自分の PC の環境に合わせてファイルをダウンロードしてください。

















ダウンロードしてきた zip ファイル android-sdk_r17-windows.zip を展開してください。展開場所はどこでも構いません。これで、SDK のインストールは完了です。

2.JDK

<http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/downloads/jdk-7u3-download-1501626.html>

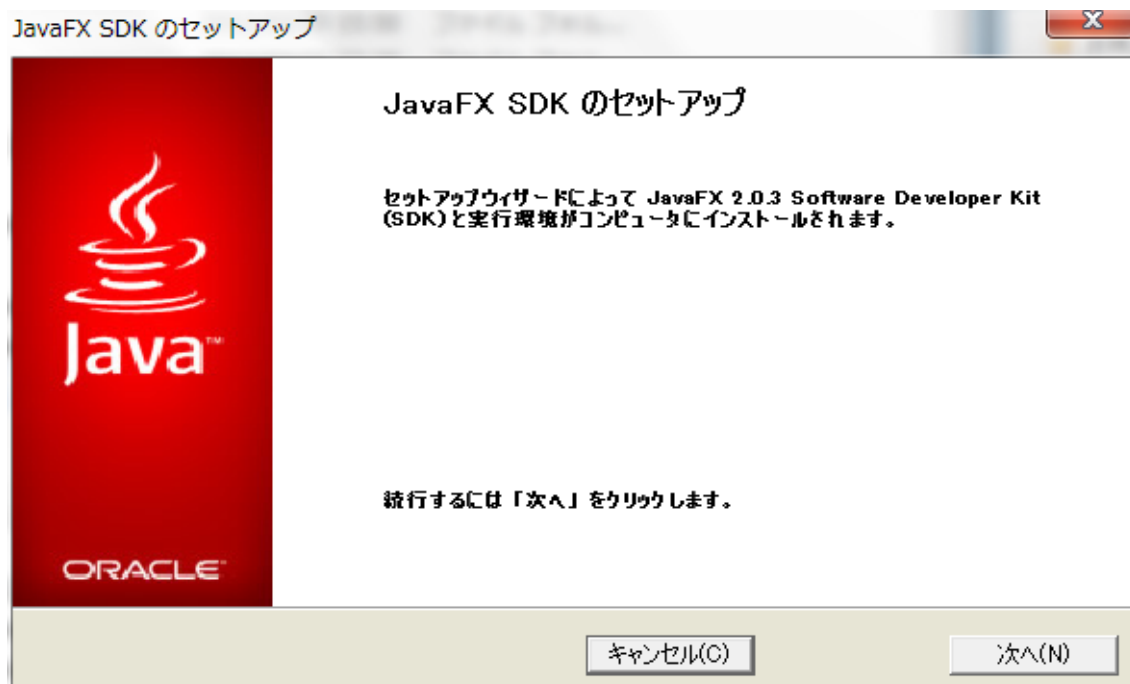
を開いて Java SE Development Kit 7u3 の欄から、自分の PC の環境に合わせてファイルをダウンロードしてください。

Java SE Development Kit 7u3			
You must accept the <u>Oracle Binary Code License Agreement for Java SE</u> to download this software.			
Thank you for accepting the Oracle Binary Code License Agreement for Java SE; you may now download this software.			
Product / File Description	File Size	Download	
Linux x86 (32-bit)	63.65 MB		jdk-7u3-linux-i586.rpm
Linux x86 (32-bit)	78.66 MB		jdk-7u3-linux-i586.tar.gz
Linux x64 (64-bit)	64.53 MB		jdk-7u3-linux-x64.rpm
Linux x64 (64-bit)	77.3 MB		jdk-7u3-linux-x64.tar.gz
Solaris x86 (32-bit)	135.96 MB		jdk-7u3-solaris-i586.tar.Z
Solaris x86 (32-bit)	81.4 MB		jdk-7u3-solaris-i586.tar.gz
Solaris SPARC (32-bit)	138.92 MB		jdk-7u3-solaris-sparc.tar.Z
Solaris SPARC (32-bit)	86.07 MB		jdk-7u3-solaris-sparc.tar.gz
Solaris SPARC (64-bit)	16.14 MB		jdk-7u3-solaris-sparcv9.tar.Z
Solaris SPARC (64-bit)	12.31 MB		jdk-7u3-solaris-sparcv9.tar.gz
Solaris x64 (64-bit)	14.46 MB		jdk-7u3-solaris-x64.tar.Z
Solaris x64 (64-bit)	9.25 MB		jdk-7u3-solaris-x64.tar.gz
Windows x86 (32-bit)	84.12 MB		jdk-7u3-windows-i586.exe
Windows x64 (64-bit)	87.41 MB		jdk-7u3-windows-x64.exe

インストールは次へを押していけば完了します。



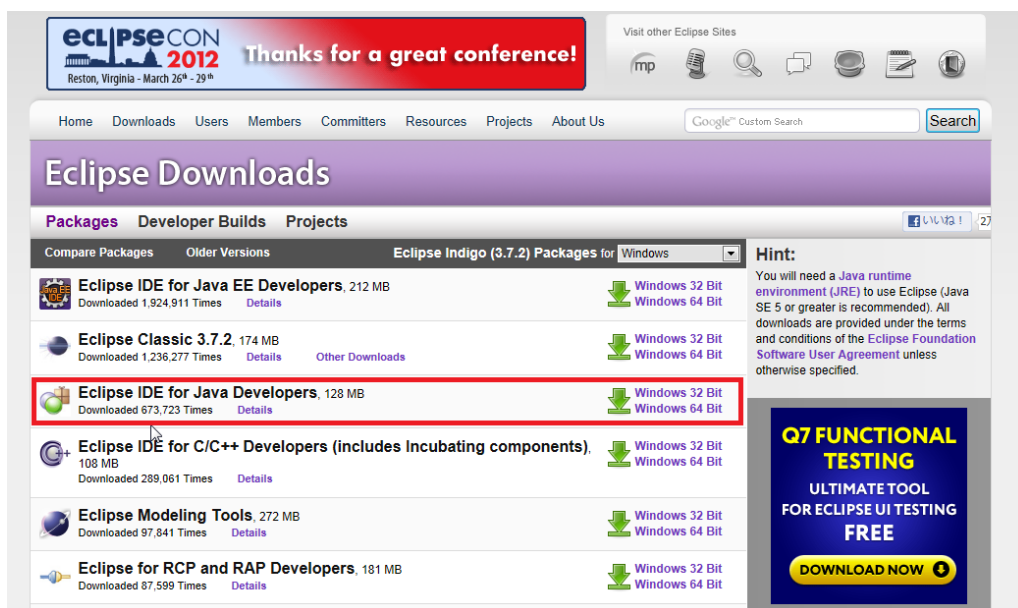
JavaFX SDK をインストールするか聞かれますが今回は使わないので、キャンセルにしても構いません。



これで SDK のインストールは完了です。

3.Eclipse

<http://www.eclipse.org/downloads/> に行きます。そして、Eclipse IDE for Java Developers をダウンロードしてください。



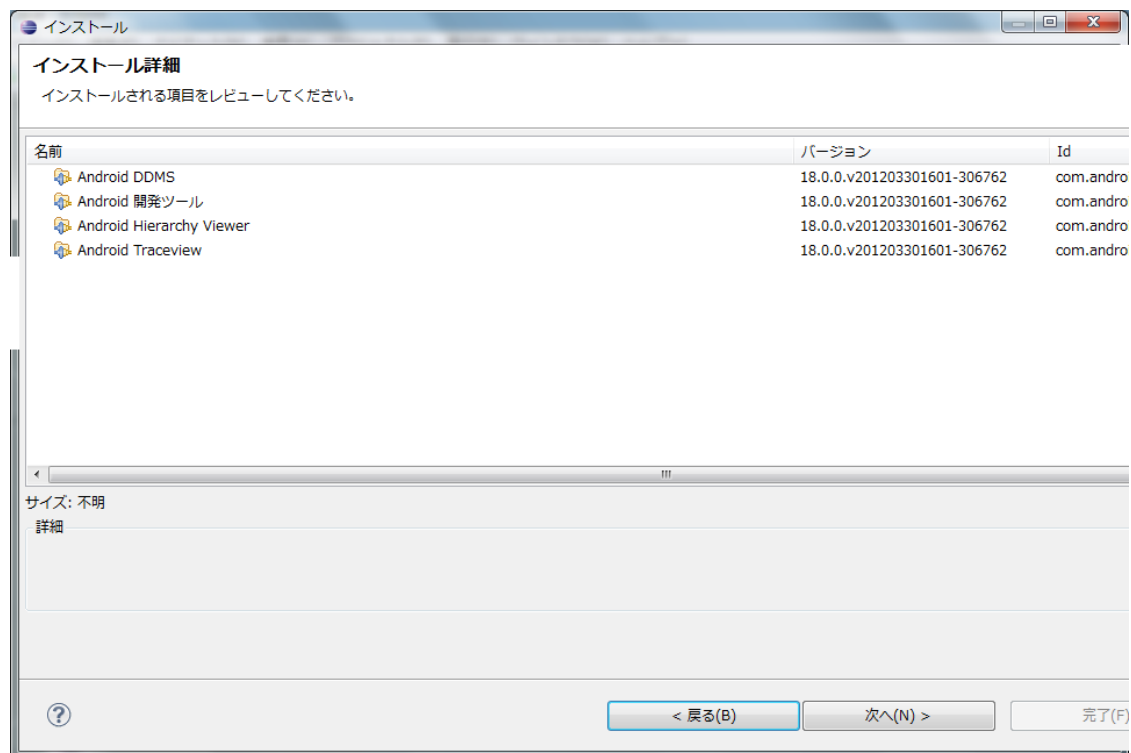
SDK のときと同じようにダウンロードしてきた zip ファイル

eclipse-java-indigo-SR2-win32-x86_64.zip

を適当なディレクトリに展開してください。Eclipse のインストールは以上で終了です。

4.

Pleiades



これは Eclipse の日本語化プラグインになります。だからインストールは任意です。

まず、<http://mergedoc.sourceforge.jp/> に飛んでください。そして Pleiades 本体ダウンロードの安定版を選択します。するとダウンロードが始まります。

MergeDoc Project

1201 users
3,571,646 downloads

Pleiades プラグイン日本語化プラグイン
JStyle 改行タブ表示プラグイン
MergeDoc / Javadoc 日本語化
フォーラム
チケット
プロジェクト Wiki
ブログ

Pleiades - Eclipse プラグイン日本語化プラグイン

日本語 Eclipse / Pleiades All in One 日本語ディストリビューション (zip ファイル)

Pleiades All in One は開発対象となるプログラミング言語別にパッケージングした Eclipse 本体と便利なプラグインのセットです。ダウンロードした zip ファイルを解凍し、eclipse.exe を起動すれば、すぐに日本語化された Eclipse を利用できます。なお Pleiades All in One の対象 OS は Windows のみです。

[Windows 上で zip を解凍するときの注意](#)

Eclipse 3.7 Indigo
Pleiades All in One

Eclipse 3.6 Helios
Pleiades All in One

Eclipse 3.5 Galileo
Pleiades All in One

Eclipse 3.4 Ganymede
Pleiades All in One

Eclipse 3.3 Europa
Pleiades All in One

Pleiades 本体ダウンロード

既にインストール済みの Eclipse に適用したい場合や、Windows 以外で使用する場合は下記の Pleiades 本体のみをダウンロードしてください。Pleiades のソースを Eclipse プロジェクトとしてチェックアウトする場合は [こちら](#) を参照してください。

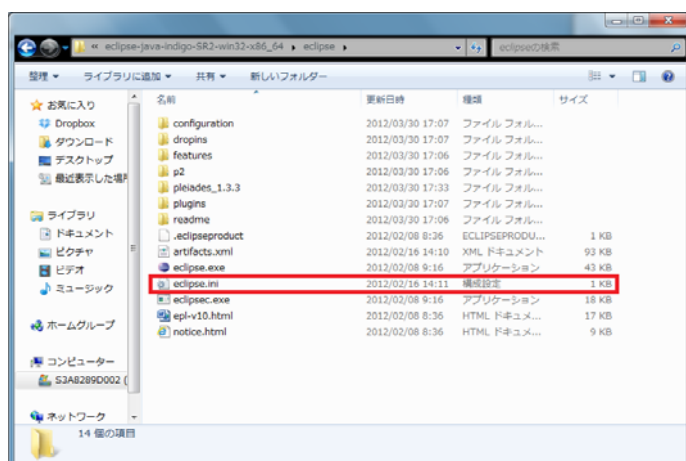
[最新版 1.3.4](#)
[変更履歴](#)
- All in One にはリリース時点の Pleiades 最新版が含まれています。

[安定版 1.3.3](#)
[変更履歴](#)

ダウンロードしてきた zip ファイル pleiades_1.3.3.zip を展開し、その中にあるファイルを Eclipse のインストールディレクトリにコピーします。このとき上書きするかを聞かれますが、すべて上書きしてください。次に、Eclipse のインストールディレクトリにある eclipse.ini の最終行に次のものを追加してください

-javaagent:plugins/jp.sourceforge.mergedoc.pleiades/pleiades.jar

追加したら、eclipse.ini を閉じます。(注 必ず閉じてください、このまま進めると eclipse.ini が更新されずインストールがうまくいかない可能性があります)

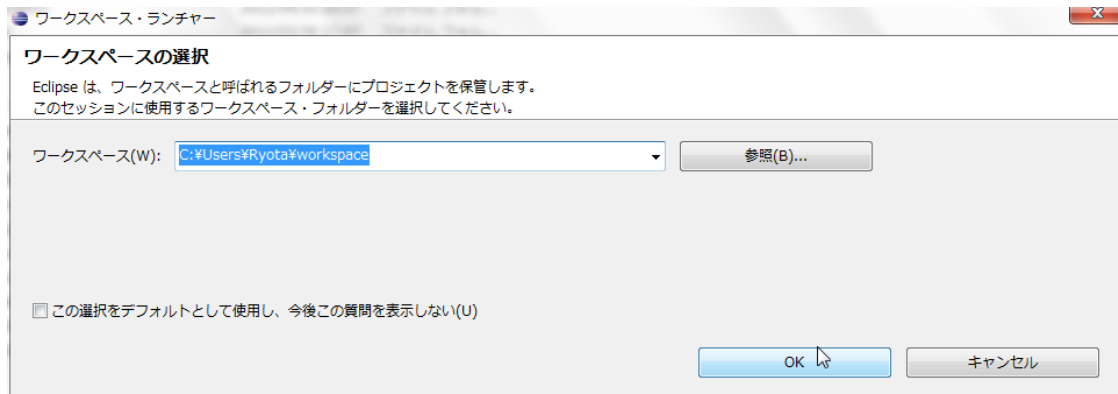


これで日本語化は終了です。

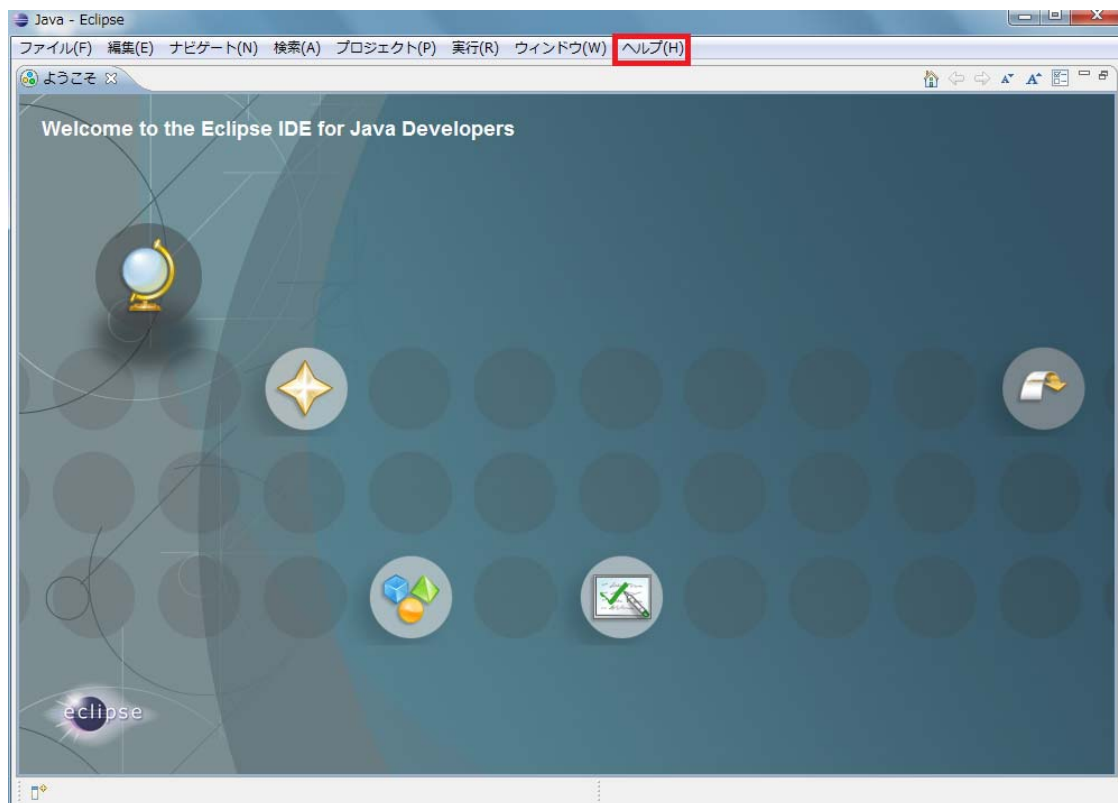
5. Eclipse の Android Plugin

まず、eclipse.exe -clean.cmd をクリックします。これは日本語化に伴う作業で初回のみで結構です。次からは eclipse.exe で eclipse を立ち上げてください。

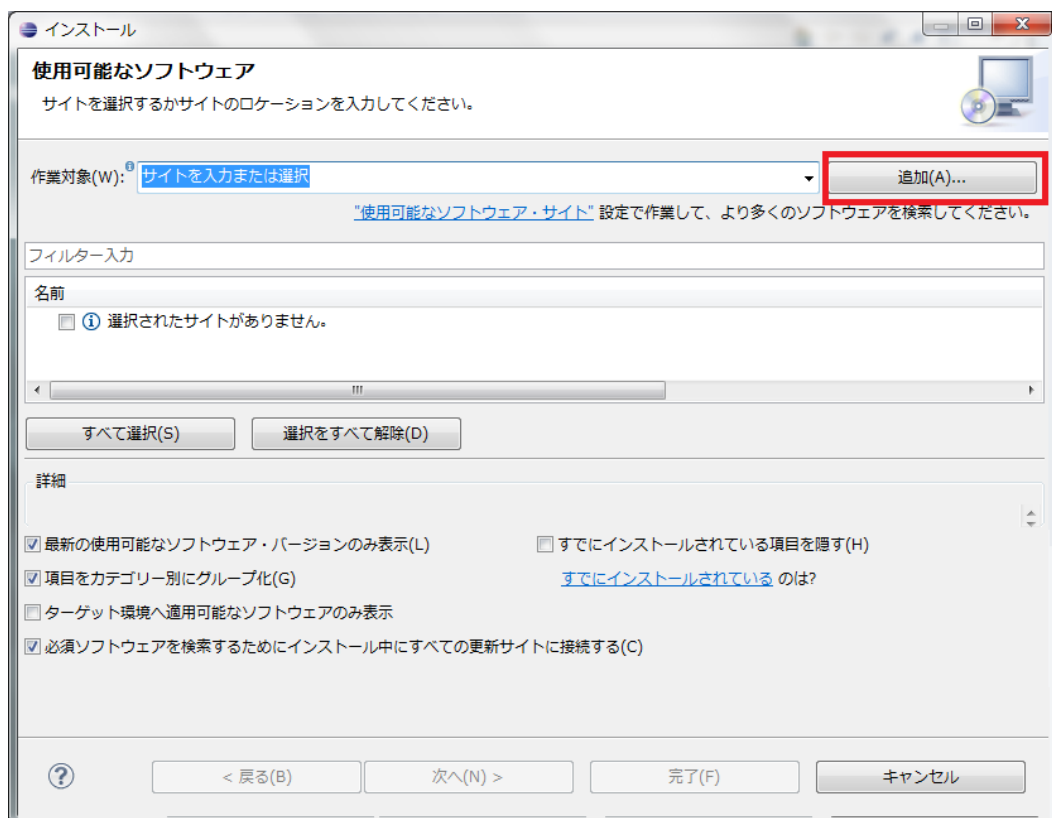
するとワークスペースをどこに作るかを聞かれるので、参照で適当な場所を選んで OK を押してください。



Eclipse が起動したら、ヘルプ>>新規ソフトウェアのインストール を選択してください



追加を選択します。



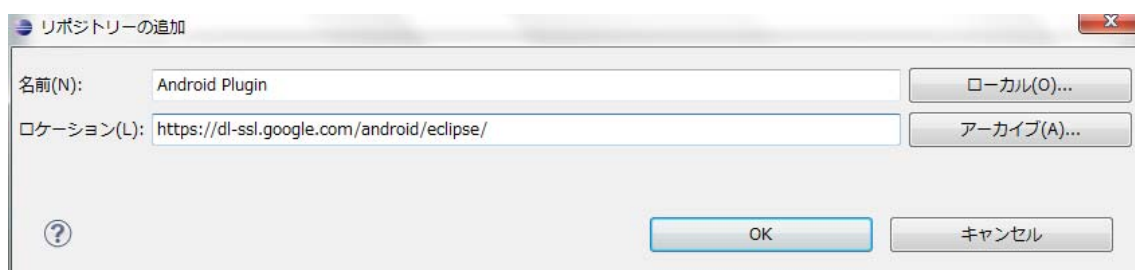
そして、次のダイアログで名前には適当なものを(仮に **Android Plugin** などがいいと思います)、ロケーションには

<https://dl-ssl.google.com/android/eclipse/>

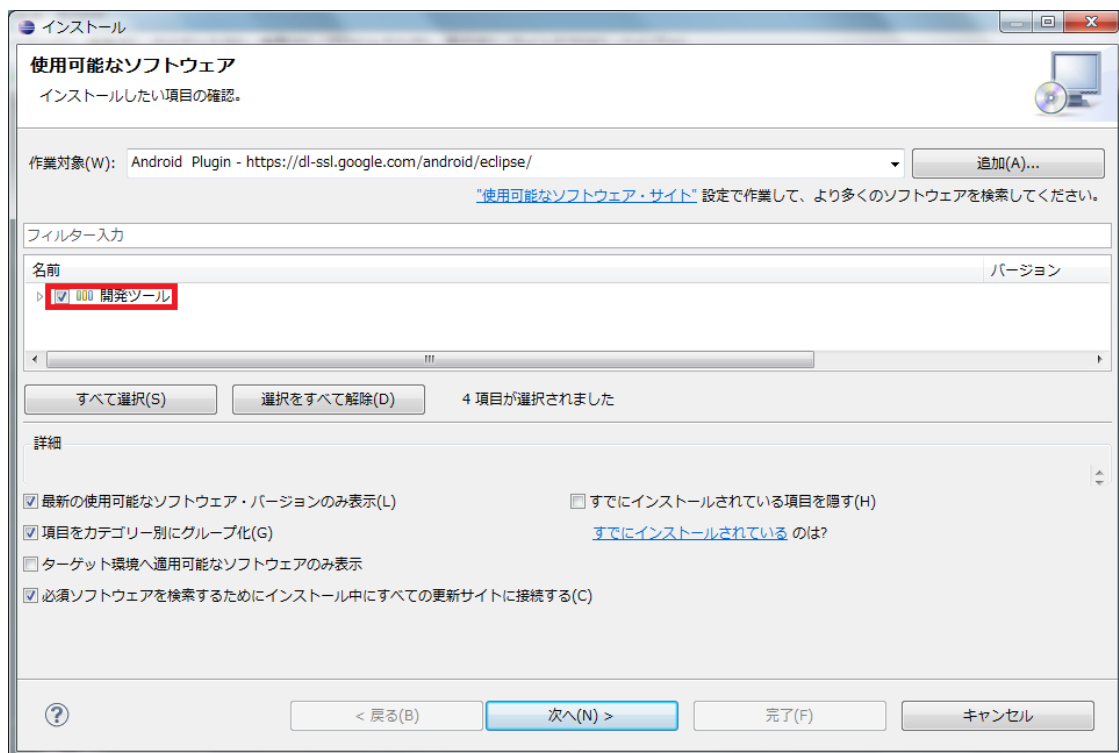
を入れます。もし、エラーが出るようだったらロケーションの方を

<http://dl-ssl.google.com/android/eclipse/>

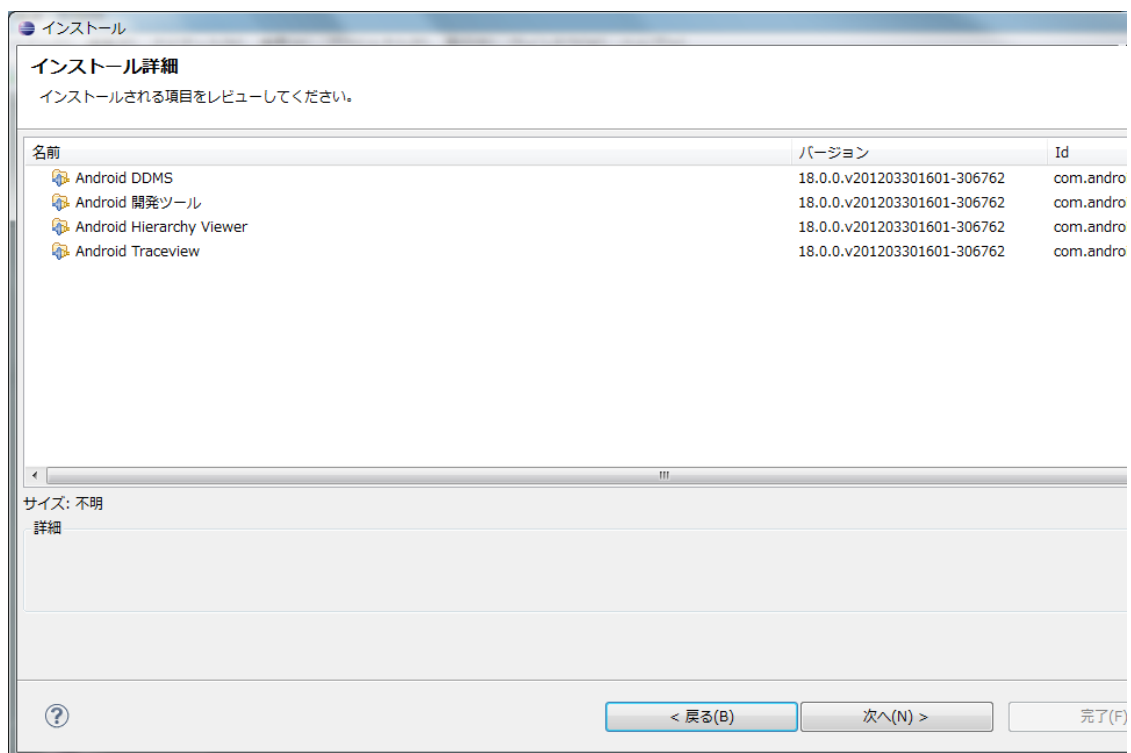
に変えてみてください。



開発ツールのチェックボックスにチェックをいれて次へを押してください。開発ツールのチェックができるまで少し時間がかかるので、出るまで待ってください。

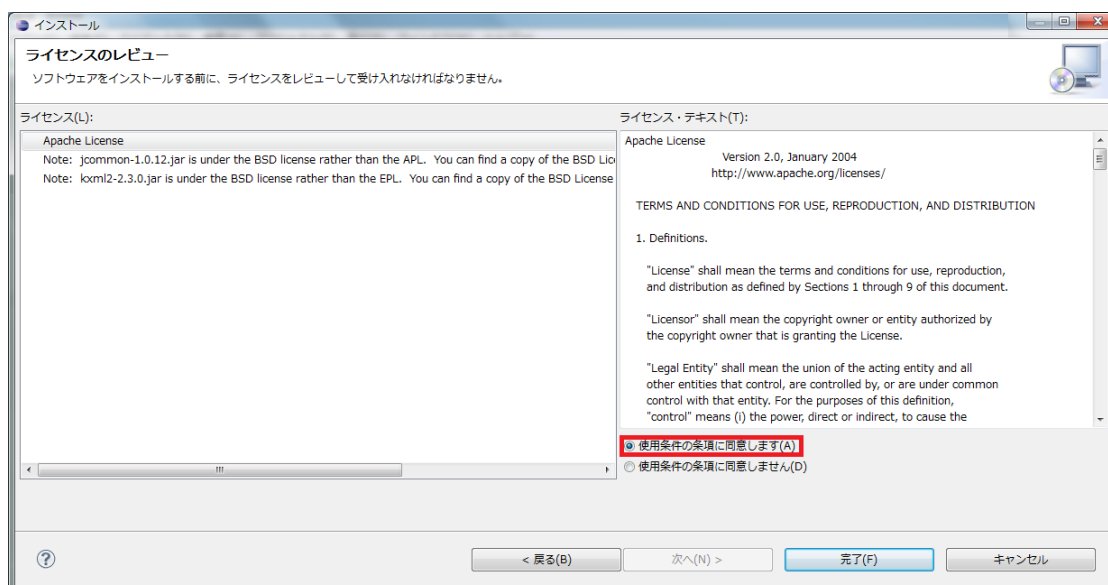


次へを押します。

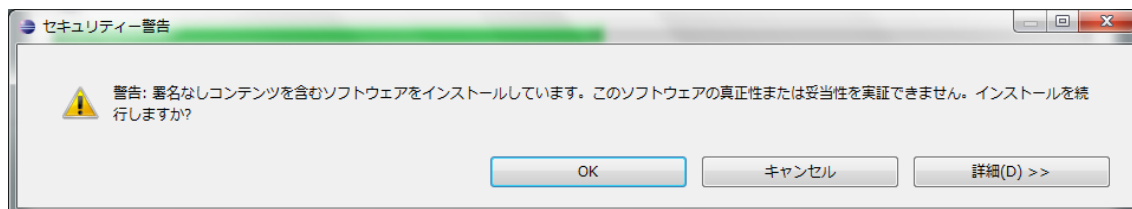


[使用条項に同意します]をチェックし完了を押してください。これで、Android Plugin のイ

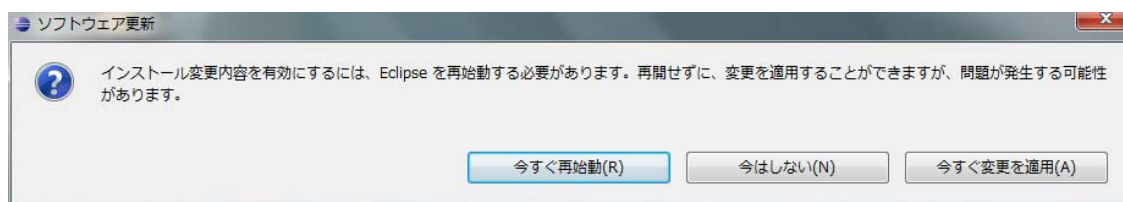
インストールが始まります。



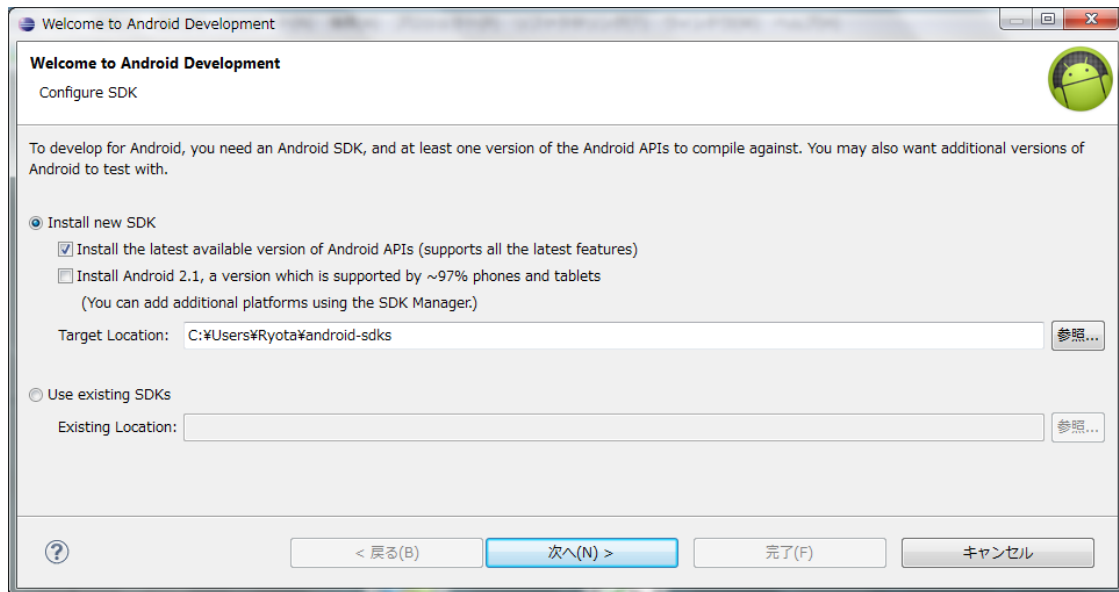
セキュリティー警告が出ることがありますが、無視して進めてください。



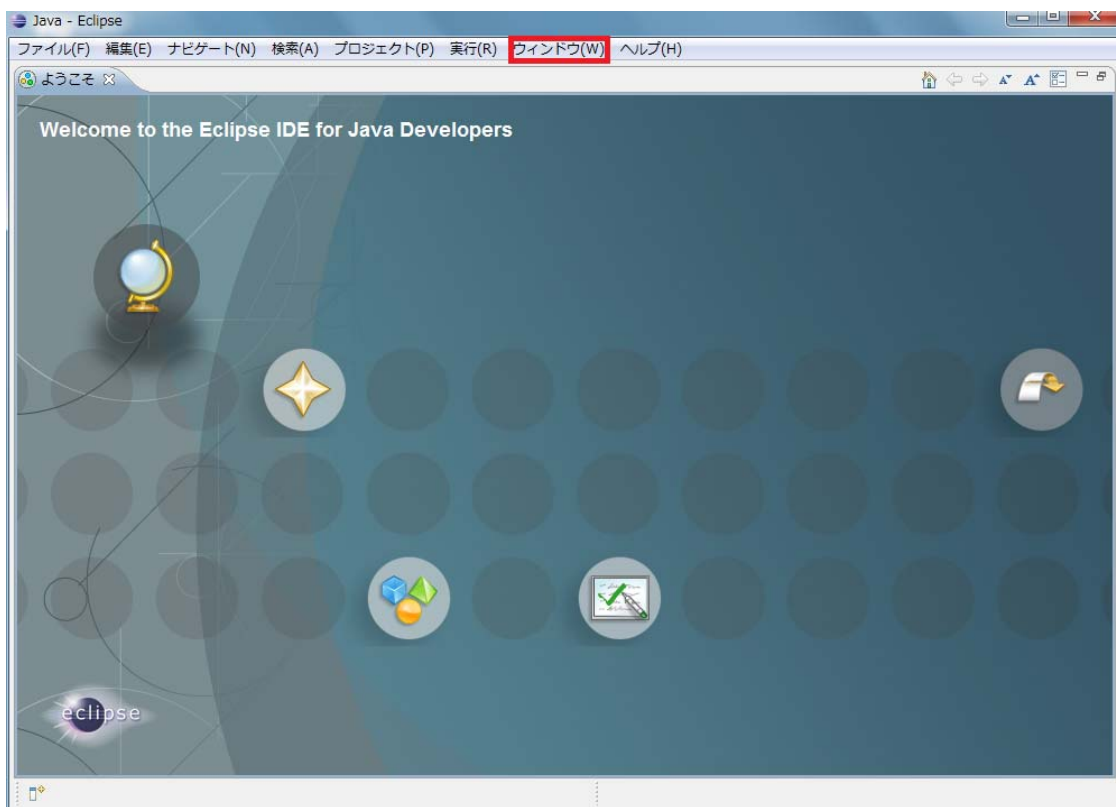
そして、インストールが完了すると **Eclipse** の再起動を促されるので再起動をしてください。



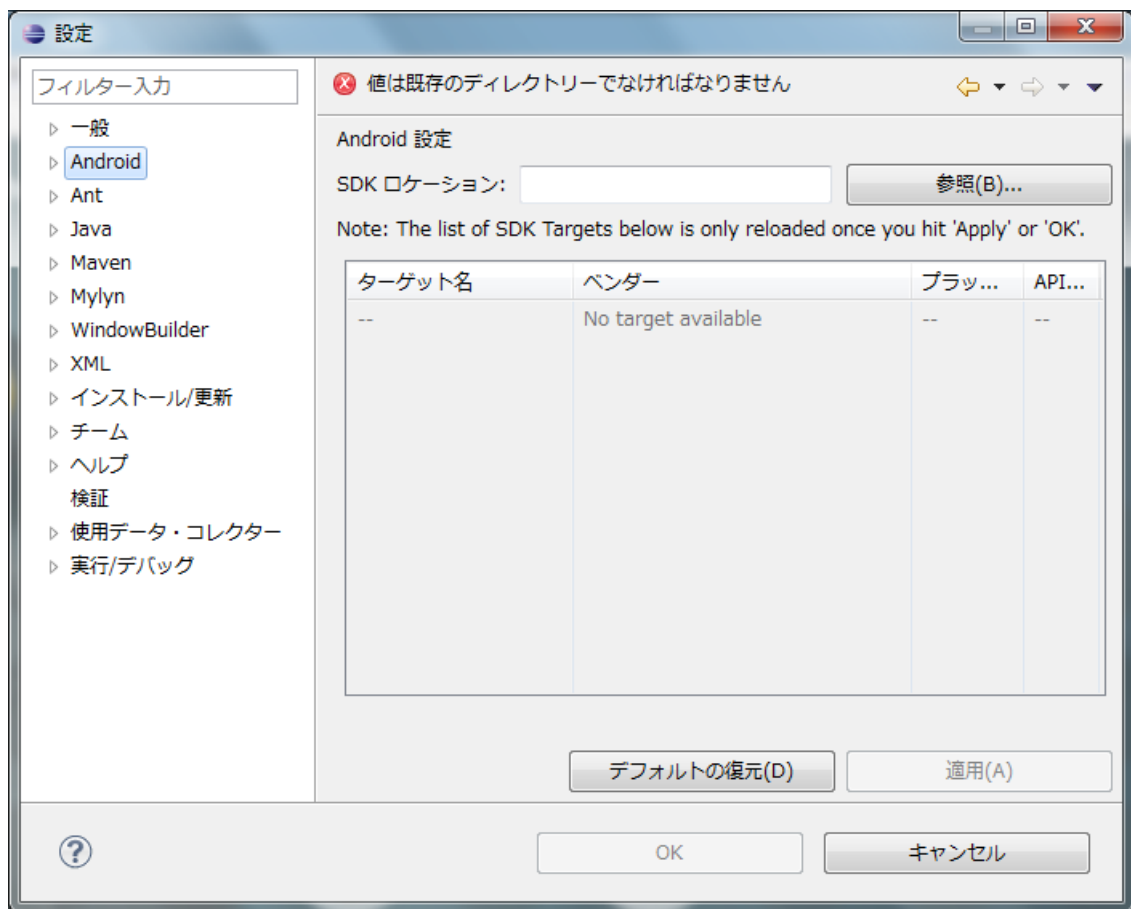
再起動して、**Eclipse** が立ち上がると次のダイアログが出ますが、これはキャンセルを押してください。



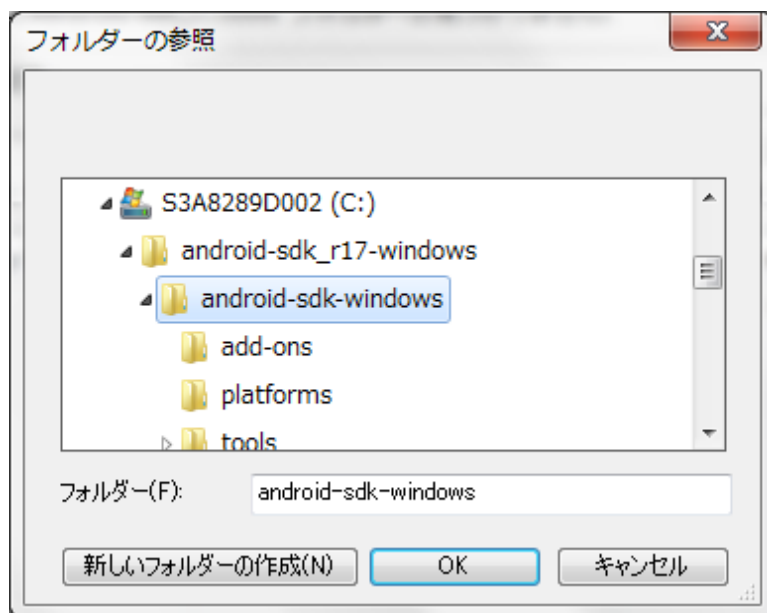
ここまでの工程がうまくいっていればウィンドウ>>設定を開くと左の方に **Android** という項目が表示されるはずです。**Android** という項目が表示されていないなら、インストールがうまくいっていないと考えられるので、**Eclipse** のディレクトリを除去し最初からインストールし直してください。



参照をクリックしてください。



先ほどインストールした SDK のファイルを選択し OK を押してください。



再びウィンドウを選択し、Android SDK Manager を選択してください。

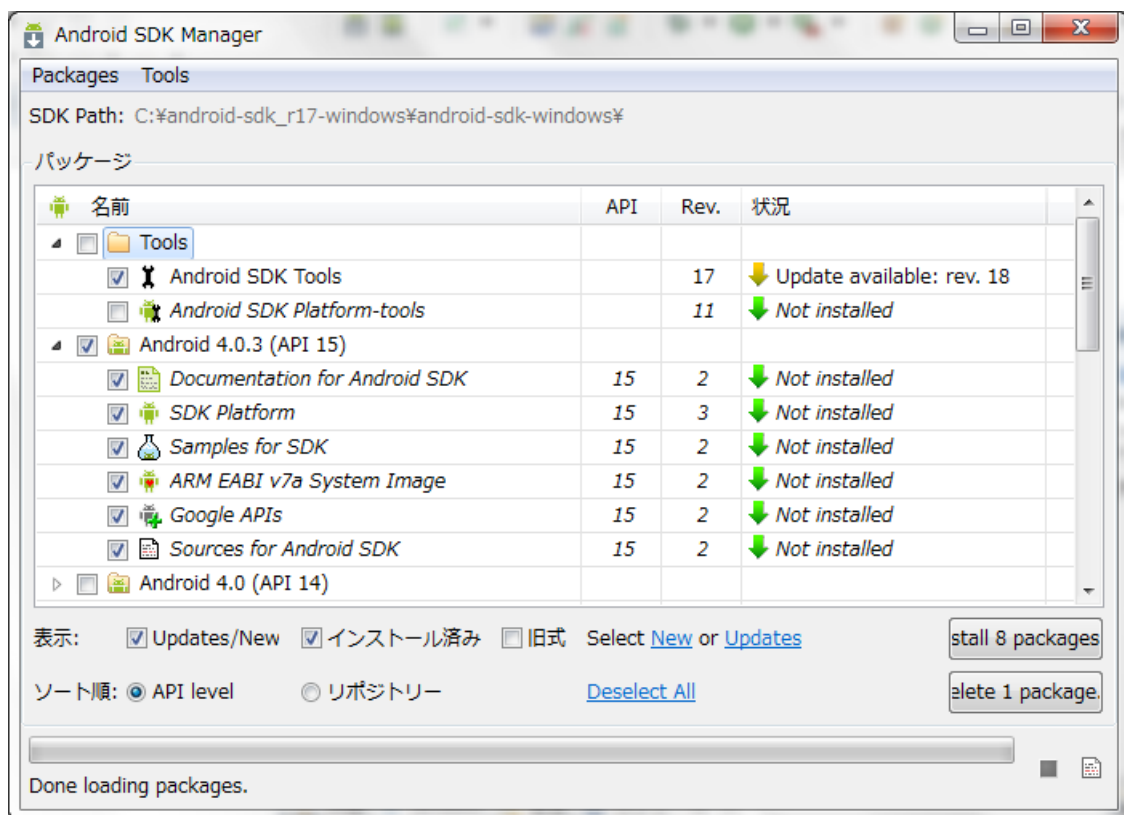
Tools

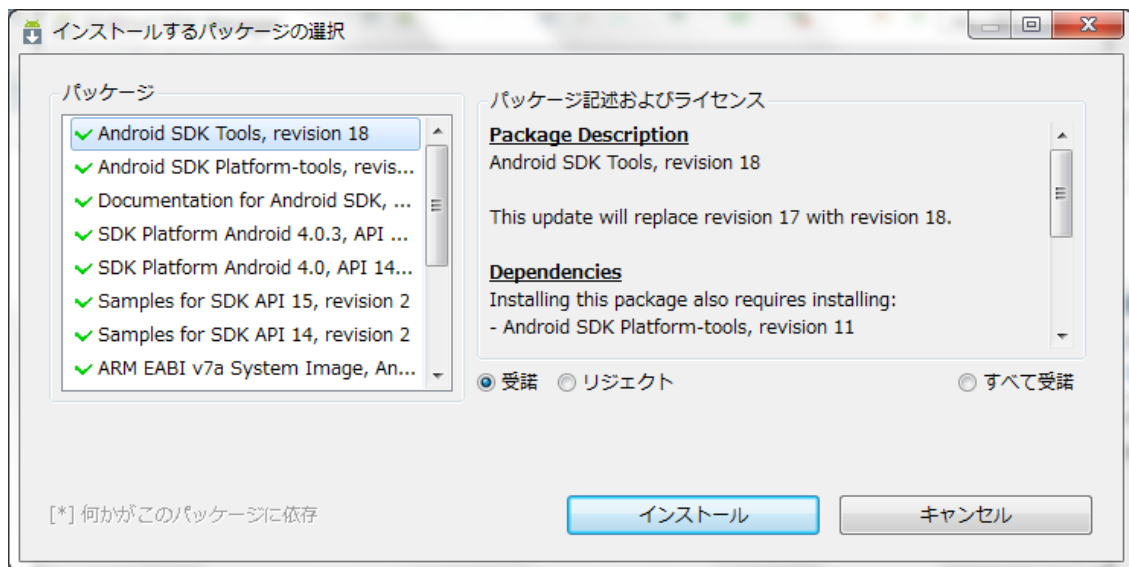
Android 4.0.3 (API 15)

Android 4.0 (API 14)

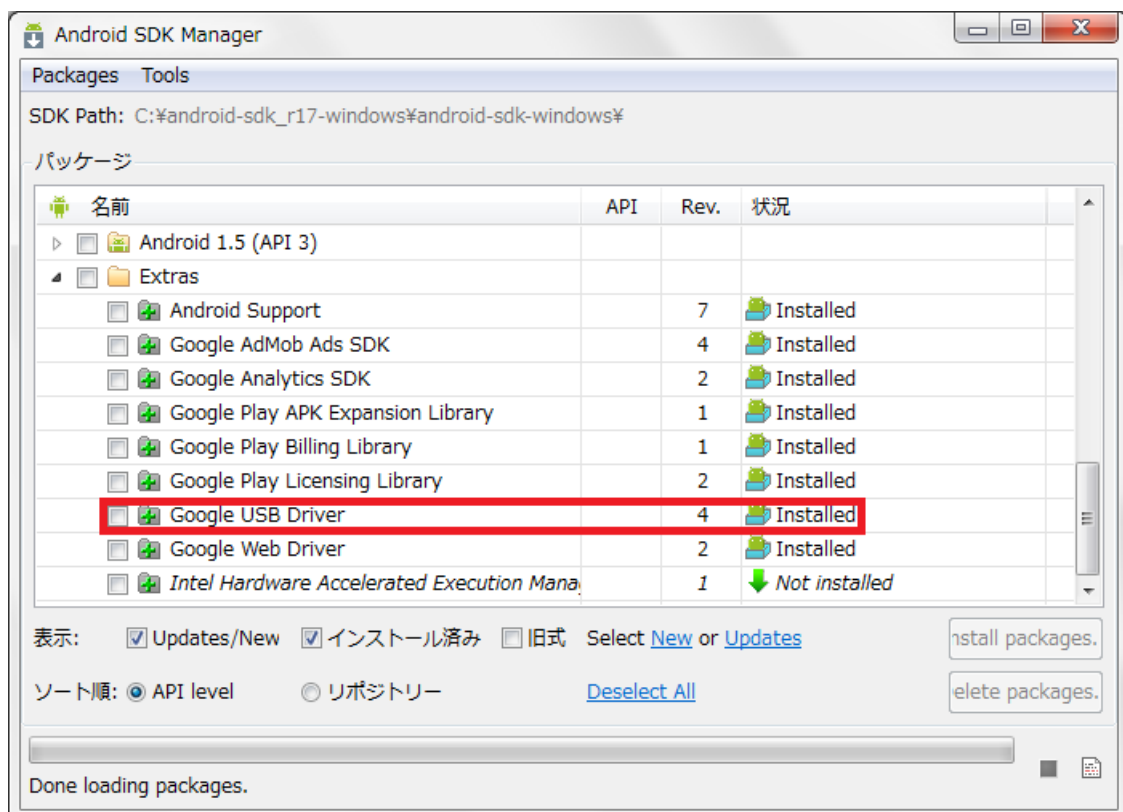
Extras

にチェックを入れてインストールをしてください。このインストールにはかなりの時間がかかると思います。もし、何かをインストールし忘れていても、もう一度 **Android SDK Manager** を開けばインストールすることができます。今回は **API 15** と **API 14** のみをインストールしましたが、他の **API** が必要なときは別途インストールしてください。





Extras の Google USB Driver がインストールされているか確認してください。もし、インストールがされていなかったら、インストールしてください。これがないと、スマートフォンを認識することができません。



以上で Android 側の開発環境の構築は終了です。